

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜本巣特別支援学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和7年2月27日(木) 13:30~15:30
- 3 開催場所 岐阜本巣特別支援学校 北館3階 会議室
開催にあたり、委員による授業参観を実施した
- 4 参加者
- | | | |
|-----|---------|-----------------------------------|
| 会長 | 森 久子 | 本巣市主任児童委員 |
| 副会長 | 松本 和久 | 岐阜聖徳学園大学教授(欠席) |
| 委員 | 神山 弘彦 | 西秋沢自治会長 |
| | 西原 良子 | 岐阜障がい者就業・支援センター
雇用拡大支援員 |
| | 牛丸 真児 | 瑞穂市社会福祉協議会
福祉総合相談センター主任相談支援専門員 |
| | 波多野 加奈美 | 本巣市障害者基幹相談支援センター「えがお」
主任相談支援員 |
| | 板倉 寿明 | 愛知淑徳大学講師 |
| | 清水 美典 | 希望が丘こども医療福祉センター相談支援専門員 |
| | 神谷 国俊 | 当校PTA副会長 |
| | 名知 由利香 | 当校PTA副会長(欠席) |
-
- | | | | | |
|-----|--------|--------|--------|----------|
| 学校側 | 神戸 茂 | 校長 | 新沢 幸美 | 事務部長 |
| | 寺井 聡 | 教頭(欠席) | 松本 深香 | 教頭 |
| | 栞原 正美 | 小学部主事 | 毛利 久美子 | 中学部主事 |
| | 佐賀 あゆみ | 高等部主事 | 松原 智和 | 教務主任(欠席) |

5 会議の概要(協議事項)

(1) 各部・各分掌の取組みについて

- ・各学部の経営の重点を踏まえた取組み(成果と課題等)についての報告
- ・各分掌の自己評価(成果及び課題等)についての報告

意見1:保護者から「学校に行くようになって、できることが増えた。」という声を聞く。児童生徒は「休みの日は悲しい。」と言う、色々な刺激がある活動があり学校に行かせたいという話を聞いた。保護者に本校の教育が理解されているということである。(複数)

意見2:中学部より渋柿と富有柿という2種類の柿についての総合学習の相談を受け、年間を通して柿の発育や摘蕾の作業等を体験するのはよい。できる限り協力したい。

意見3:柿をはじめ地域の農産物は、人手不足が一層進んでいる。高等部卒業までに、地域に労働の担い手として貢献できる人材を育てることは大切である。(複数)

- 意見 4 : 障害のある人が作った製品をブランド化して、それを利用・購入することで社会貢献とする企業等もある。作業製品をブランド化してはどうか。
- 意見 5 : 教育課程の編成や個別の指導計画にかかわって、民間の事業所の中には、指導計画を立てる際に AI を活用しているところがある。将来的にはそういう方向になるかもしれないが、そういった流れにどう向き合っていくか問われることになるかもしれない。不登校児に「OriHime eye (オリヒメアイ)」が使えるとよい。
- 意見 6 : 授業研究会を、校内から近隣の小中学校等への公開研究会としていく取組みはよい。現在、小中学校の通常の学級から特別支援学級にくる児童生徒が増えキャパオーバーとなり、特別支援学校に入ってくる流れがあると聞く。公開研究会での特別支援学校の授業公開やセンター的機能等を通して、是非、地域の小中学校の特別支援学級や通常の学級の先生方にノウハウを伝えるという役割を担ってほしい。
- 意見 7 : 卒業後の社会では、身だしなみを整えることや挨拶、返事などがきちんとできることが大切である。学校でできても家庭ではできない、といったケースも多い。小学部の段階から少しずつ確実に力を付けていくことが大切である。(複数)
⇒学校で身に付け学んだことを、実際の生活の中で生かしていける力を付ける必要がある。
- 意見 8 : 本巢市の給食はおいしく、食育という視点からも工夫されていると聞く。実際に食べてみたい。食を通していろいろなことを系統的に学ぶということはよい。
- 意見 9 : 休校になる場合、本校の児童生徒が安全に過ごす場所は、自宅や放課後等デイサービス事業所であると聞く。難しいかもしれないが、利用状況を把握してもよいかもしれない。いろいろな訓練が適切に実施されている。北駐車場への避難を考えたのもよい。
- 意見 10 : センター的機能の相談活動について、相談件数や相談者が多様であるが、個人からの相談もあるのか。
⇒個人からの相談もある。その後、相談者の意向を聞き、どのように連携先と繋げるかを検討し、支援をしている。

(2) 作業製品の検討について

- ・新規の作業製品の価格、既存製品の価格変更や内容量変更についての提案

意見 1 : 農業園芸班の新商品(モダン盆栽)はよい。購入したくなる。価格も妥当である。その他の変更についても、物価上昇を考え、適正な価格やグラム数の変更である。

6 まとめ

- ・第3回学校運営協議会では、出席した8名の委員より、各部・分掌の今年度の取組みについて、評価とともに次年度の改善点や新たな取組みの手立てとなる意見を得た。
- ・作業製品については、提案のとおり承認を得た。
- ・各部や分掌の課題について今回得た意見や助言を、来年度の計画等に反映したり新たな活動を立案したりして、今後の教育活動に引き継ぐ。